

火災予防運動の一環として車両火災研修を実施

松戸市消防局

松戸市消防局は、平成28年3月2日、消防訓練センターにて車両火災研修を実施しました。研修は、講義と実車を使用した実験の2部構成で実施しました。講義では、車両火災を調査するに当たり必要となる自動車の構造から、火災現場における対応、車両本体の見分要領について学びました。実車を使用した実験では、高温の排気系統に漏れた油脂類や、エンジンルームに置き忘れたウエスなどの可燃



物が触れて出火する様子を確認することができました。



今すぐダクトの点検・清掃を！ ～焼肉店における火災の注意喚起～

東京消防庁国分寺消防署

東京消防庁管内の焼肉店において昨年からの火災が急増していることを受け、国分寺消防署では、6月22日から国分寺市内の各焼肉店に火災の注意喚起を行いました。

市内には、約20店舗があり、各店舗にリーフレットを配布するとともに火災の発生状況、被害の拡大・避難の困難性の特徴を伝え、ダクトの定期的な点検、清掃等の適切な維持管理をお願いしました。

各焼肉店の店長からは、焼肉店の火災急増に対する驚きと同時に危険性を再認識した様子で、危機意識の向上が図られました。



消防通信 望楼 ぼうろう

防災講座の開催

さいたま市消防局

さいたま市消防局では、7月1日（金）、さいたま市防災センターにおいて、防災講座を開催しました。

公益財団法人日本防災協会より講師をお招きし、防災の理論や防災規制、防災性能等について、実演も交えながら、大変分かりやすく説明していただきました。

講座には消防職員に加え、日頃、高齢者と接する機会が多い、市内の地域包括支援センターから介護士・看護師の方々にも御参加いただき、防災品への理解と利用促進をお願いしました。

防災品の有効性を再認識することができ、大変有意義な講座となりました。



外部講師を招き職員研修を実施

東大阪市消防局

東大阪市消防局では、「職務に対する目的意識の持ち方と職務に専念できる職場環境づくり」をテーマに研修を実施しました。

当研修では、株式会社タフ・ジャパンの鎌田修広氏を講師に迎え、目的意識の重要性や職場環境づくりについて、座学と体を動かす内容を組み合わせ理解しやすく説明していただきました。

研修に参加した職員は、鎌田修広氏の体育・防災・道徳を融合した「災強人材育成」という考えに大きな共感を生み、終始熱気の絶えない充実した研修になりました。

今後とも職員の人材育成を積極的に行い、消防力の強化に努めてまいります。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】